

みやぎ地域連携マッチング・デイ2020 発表者一覧

令和2年1月17日(金)

仙台国際センター展示棟 会議室3・4

発表者 [企業]

No. プレゼン	カテゴリ	発表機関名	出展代表者	発表テーマ・概要	ニーズ
01	IoT	株式会社 IoT.RUN	取締役COO 櫻井洋実	IoTをもっと身近に、もっと手軽に～製造業のIoT導入を加速させる～	販路開拓 ・ 情報収集
10:00～				“学ぶ・試作する・導入する”を1台で実現するIoTエッジデバイス「Tibbo-Pi」と、中小製造業が自社開発したIoTソリューションを簡単にシェアできるプラットフォーム「IoT ONEBOX」を提案します。	
02	マシン・ マテリアル	アスカカンパニー 株式会社	ナレッジパーク プロジェクトマネージャー 藤田広樹 部門責任者 門脇英之	プラスチック成形品・薄肉化における省資源化(射出成形)	販路開拓 ・ 共同研究
10:15～				プラスチック製品の射出成形を行うメーカーです。環境への配慮を行う「薄肉化」で使用樹脂を低減し、省資源化を実現。IoTも積極的に取り入れ、物作り産業牽引の一助となることを目指します。	
03	アグリ・ バイオ	アスラポ 株式会社	代表取締役 松野将家	農業経営管理システムで「儲かる農業」	販路開拓 ・ 情報収集
10:30～				「aKnow Advanced (エイノウ アドバノスト)」は、GAP管理、生産管理、データ分析等の農場管理、圃場管理の基本機能に出荷管理、販売管理機能をプラス。計画生産を実現し、「儲かる農業」をサポートします。	
04	エコシカル・ 再生エネルギー	株式会社 さんのう	代表取締役 海老澤信典	地球温暖化・ヒートアイランド現象の低減に貢献する遮熱塗料サンシエル®	販路開拓
10:45～				太陽光照射により上昇する構造物の表面温度を下げ内部への熱流入量を低減させる遮熱・断熱塗料サンシエルの紹介とデモ機によりその効果を体感していただきます。	
05	産学・ 地域連携	有限会社 デザイン・モジュール	取締役社長 千葉浩三	プロダクトデザインからCG動画PRまでの一貫商品開発支援	販路開拓 ・ 情報収集
11:00～				製造業者様が自社の優れた技術や大学からの移転技術をもとに商品開発を進める際にプロダクトデザインの面から商品化をサポート。出来た商品の利点をわかりやすくアピールできるCG動画も制作します。	
06	産学・ 地域連携	東北特殊鋼 株式会社	取締役研究開発部長 江橋貴司	”振動発電”機能をもつクラッド鋼板	共同研究
11:15～				産学共同で開発した新磁歪材料/クラッド鋼は「振動発電」の機能もちIoT電源として期待されており、その特性はアクチュエータやセンサーにも応用可能。金属材料のため耐衝撃性や加工性、サイズの自由度が高く、各所で応用開発が行われている材料です。	
07	メディカル・ ヘルスケア	株式会社 トレック	専務取締役 柴崎健一	送迎計画の自動化	販路開拓
11:30～				「うるなび」は、ディサービスの「送迎計画を立てる作業」の自動化をご提供することで、業務効率の改善を目指すものです。また、送迎計画の自動作成エンジンを活用し、オンデマンド交通など地域連携に役立てたいです。	

発表者 [学術機関]

No. プレゼン	カテゴリ	発表機関名	出展代表者	発表テーマ・概要	ニーズ
08	産学・ 地域連携	東北学院大学	教養学部情報科学科 准教授 高橋秀幸	ドローンを活用した防災・減災への取組と応用サービスの紹介	共同研究 ・ 技術相談
11:45～				地震や豪雨などの自然災害を対象として、ドローンを含むロボット、センサ、携帯端末などの通信機能を備えたIoT機器を活用した防災・減災機能に関する研究開発を行っています。	
09	ロボット・ AI	東北工業大学	AIR研究所 所長 鈴木節郎 (工学部電気電子工学科准教授)	企業様のニーズに合わせた「AI」開発 (AIR研究所)	共同研究 ・ 技術相談
12:00～				AIR研究所の技術シーズを、プレゼンテーションとブース展示で紹介するとともに、県内外の企業様と潜在ニーズ探索から相談し、企業様のニーズを解決するAIを創造することにより、新たな価値の創出を目指します。	
10	産学・ 地域連携	東北工業大学	マーケティングサポート研究所 所長 佐藤翔鳥 (ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科准教授)	学生参加による地域中小企業の商品開発・販路開拓 (マーケティングサポート研究所)	共同研究 ・ 販路開拓
12:15～				地域中小企業及び自治体で、危機感はあるがマーケティングに手が回らない方々を対象に、学生がアイデアを出しながら新商品開発を行います。消費者ニーズから新商品開発・販路開拓、産官学連携を行う研究所です。	
11	産学・ 地域連携	宮城大学	食産学連携 発酵化学研究室 教授 倉内 誠	微生物発酵による農産物および水産物の新たな加工品開発	販路開拓 ・ 情報収集
12:30～				魚介類や農産物の残渣及び規格外原料の有効資源化を目的に、原料を高温で微生物処理することで、従来よりも短期間でタンパク質を分解し、複合的な発酵により風味に優れた調味液を製造することができました。	
12	産学・ 地域連携	宮城大学	事業連携学部 日原デザイン研究室 教授 日原 広一	自社製品に「デザイン」はいかがですか？	販路開拓 ・ 情報収集
12:45～				開発中の製品や商品を高付加価値なものにする有効な手立ての一つが「デザイン」です。これまで幅広いデザイン開発を手掛けてきた経験から、発注経験のない企業様にも希望に沿ったデザインをお届けすることが可能です。	

(敬称略)